

様式第5号（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在 (地 番)	別紙参照	地 目	別紙参照	面 積	8,400.77㎡
工事中又は 工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中	伐採工	⑨	植生等の変化が生じる可能性がある		計画地内に緑地を設ける。		
工事中	擁壁工	⑦	雨天時に仮置土が流出する可能性がある。		仮置土は流出するおそれが少ない場所に置き、十分な管理を行う。		
工事中・ 工事後	地下調整池工	②、⑦	土砂及びゴミが溜まり、排水機能の低下するおそれがある。		定期的に掃除を実施し、機能の維持に努める。		
工事中・ 工事後	排水路	②、⑦	土砂及びゴミが溜まり、排水機能の低下するおそれがある。		定期的に掃除を実施し、機能の維持に努める。		
工事中・ 工事後	建築工	⑨	近隣集落住民の日常生活に影響を与える可能性がある。		近隣集落住民の日常生活に影響を与えないよう、周囲との調和を図る。		

（注）1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。

①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）

2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。